

令和元年度

第4四半期

事業・決算報告（資料）

社会福祉法人 明和会

令和元年度 社会福祉法人明和会 事業計画実施結果報告順

1	法人本部	1～3P	
2	かおる園 ・ 特別養護老人ホーム/短期入所生活介護 ・ デイサービスセンター	4～14P	4～11P 12～14P
3	ハーブガーデン新十津川 ・ ケアハウス/特定施設	15～20P	
4	陽だまりの郷 ・ グループホーム ・ 小規模多機能型事業	21～33P	21～27P 28～33P
5	リハヒーリング・ハーブ	34～37P	
6	生活介護事業所 ひかり	38～42P	
7	きっずでい ここ	43～47P	
8	ホームピンネ ・ 花月地区ホームピンネ ・ 中央地区ホームピンネ	48～61P	48～55P 56～61P
9	フレーバーカントリー	62～65P	
10	総合相談窓口 虹 ・ 相談支援事業所 虹 ・ 居宅介護支援事業所 虹	66～74P	66～70P 71～74P

令和元年度 事業目標と結果 (事業所名:法人本部)

(全体総括)

令和元年度は、法人本部としては当初、各課・室において事業計画を作成したが、その後法人本部として1つの計画に変更したため、当初の計画が変更となった。法人として、アメーバ経営を取り入れ全員参加経営を目指したが、浸透にはいたらず、次年度に向けて明和会フィロソフィーの完成と浸透を図っていききたい。また、法人のルールが確定されていないことから、令和2年度中に、わかりやすいルール整備を行う。令和元年度は、取得可能な加算がとれていない事業所もあったため、収入最大を目指して、取得可能な加算、助成金の取得を目指し、取得に係る文書の確認を行う。経営分析が活かされていないため、次年度は経営会議等での確かな分析を目指していききたい。

課題・重点	目標項目	目標水準	結果	次年度へ向けて
アメーバ経営が浸透されていない	全員参加経営を実現する	・全職員に浸透	事業所間にばらつきがあり、全職員に浸透されている事業所とされていない事業所がある	・全職員にアメーバ経営を浸透する。 ・明和会フィロソフィーを完成させる ・経営分析が活用する
ルールが曖昧になっている	各規程の法人内職員の周知・理解	・就業規則 ・給与規程 ・育児・介護休業規程 ・公印管理規程 ・経理規程 ・倫理規定 上記規程、規則の整備完了	・規程の整備完了には至らなかった	・同一労働同一賃金の対応が10月開始に伴い、2020年9月末までに完成(予定)する ・法人のルールが確定できていないことや、経験の浅い管理者に対しわかりやすいルール整備を行う 施設の老朽化が進んでいるが改修計画が作成する 法人(本部、事業所)が求めている人材像が明確になっていないため、採用と育成のルールが整備を行う
・地域の課題を解決出来るような公益活動を行う	税額控除対象法人の要件を満たす	税額控除対象法人となり、地域に根差した活動を行う	50～60件程度の件数が満たしていなかった	・地域の改善すべき問題点への貢献を行うため、年間プランを明らかにする 職員・外部向けの事業所情報が発信する
取得できる加算を増やしていく	取得可能な加算の取得	令和2年度の予算に計上する	令和2年度の全て予算に計上する予定であったが、一部計上できていなかった	できていない加算取得のため、取得に向けた準備を行い取得を目指す
助成金の取得を行う	取得可能な助成金を決定する	両立支援等助成金を取得する	令和2年度の予算に計上した	助成金取得のスケジュールを作成して、申請等を行う

令和元年度（1月～3月） 会議・委員会 事業所名：本部

会議

会議名	開催日	参加者	主な議題
経営管理課会議	R2.1.24	八木、土岐、菊地、田中、飛渡、辻村	・アクションプランの確認 ・予算作成の進捗状況の確認 ・業務内容の引継ぎ・調整・確認
本部ミーティング	R2.1.27	本部職員	・アクションプランの確認
経営管理課会議	R2.2.25	八木、土岐、菊地、田中、飛渡、辻村	・アクションプランの確認 ・予算作成のスケジュールの確認 ・業務内容の引継ぎ・調整・確認
本部ミーティング	R2.2.20	本部職員	・アクションプランの確認
本部ミーティング	R2.3.18	本部職員	・アクションプランの確認
経営管理課会議	R2.3.25	土岐、菊地、田中、飛渡、辻村	・アクションプランの確認 ・新年度の予算・予算精算書の流れにつて ・積立金取崩のルールについて

監事による事業所視察

視察事業所名	実施日	参加者	結果
特別養護老人ホーム かおる園	R2.2.5	西永監事、特養かおる園管理者、運営相談室長	①破損箇所や、道より修繕の指摘がある部分については、早急に改善する必要があることと、保守や大きな破損等に係る修繕は、計画性を持ち本部担当部署と相談し進めていただきたい。近隣の特養等の老人施設はどれも綺麗な施設が増えているので、この状態では選んでもらえる施設とはならないと感じる ②明和会でのかおる園は稼ぎ頭となるのであると思うので、法人内でも優先しかおる園の現状で破損している部分の修繕や外壁等改修は行うべきである
生活介護事業所 ひかり	R2.2.5	西永監事、生活介護事業所ひかり管理者、運営相談室長	特に指摘事項なし
フレーザーカントリー	R2.2.7	村中監事、フレーザー管理者、運営相談室長	特に指摘事項なし
中央地区ホームピンネ	R2.2.7	村中監事、中央地区ホームピンネ管理者、運営相談室長	①事務所が国道に面しているので、車の騒音があることからエアコンの設置が必要と以前も話をしていた

委員会

委員会名	開催日	参加者	主な議題
第9回明和会事故再発防止委員会	R2.1.10 かおる園	委員8名,欠席4名, 運営相談室長	①12月中のインシデント及び事故状況報告 ②各事業所でインシデント等再発防止へ向けて
第4回明和会災害対策委員会	R2.2.10	委員8名,欠席4名, 運営相談室長	①今年度内中に行う（いつまでに）こと/各実施担当等役割を決める。 ②次年度への継続協議事項について確認
第10回明和会事故再発防止委員会	R2.2.14	委員8名,欠席4名, 運営相談室長	①1月中のインシデント及び事故状況報告 ②各事業所でインシデント等再発防止へ向けて

委員会

委員会名	開催日	参加者	主な議題
第4回明和会身体拘束・虐待・苦情委員会	R2.2.28	委員10名,欠席2名,運営相談室長	①各事業所にある問題の芽とその対策について(事業所担当から説明) ②花月地区グループホームを例に問題解決への意見を委員から聴取
第4回明和会感染症・衛生管理委員会	R2.3.11	委員9名,欠席3名,運営相談室長	①新型コロナウイルス等感染予防周知文書(運営相談室長作成) ②コロナウイルス感染拡大予防対応表 ③法人内各事業所の新型コロナウイルス対策
第11回明和会事故再発防止委員会	R2.3.13	委員10名,欠席2名,運営相談室長	①2月中のインシデント及び事故状況報告 ②各事業所でインシデント等再発防止へ向けて

外部監査

外部監査名	開催日	参加者	指摘事項
第8回明和会外部監査対象事業所：花月地区ホームピンネ	R2.1.14	坂本税理士,花月地区ホームピンネ管理者,運営相談室長	①令和元年10月1日以降の個別支援計画書が作成されておりません ②全般的に個別支援計画が定型化されているように思われます。高齢者については難しい面もあるでしょうが、個々の利用者の実態に合わせた個別支援計画の作成と、モニタリングの実施に配慮するように ③フェイスシートの記載内容が薄い利用者が見受けられます。町営時代のもをそのまま引き継いでいる利用者もあり、過去の資料収集は難しいでしょうが、利用期間が長い利用者については、当施設で追記できる部分もあると思われる ④自衛消防組織編成表が作成されておりますが、担当職員名が記載されたものが無く、職員の皆さんにも周知されておりません。名前入りのものを作成し、特に人事異動の際は周知徹底を行ってください
第9回明和会外部監査対象事業所：きつずでいここ	R2.2.27	坂本税理士,ここ管理者,運営相談室長	①学習障害のある児童について、着実に成果は出ているとのことですので、その成果をしっかりと報告するためにも利用開始時や1年前と習熟度を比較できるようなフォーマットを作成してください。 また、一定の効果が出ると同年代に学習が追い付いていない児童でも退所されるケースがあるようです。複数年かけて達成するような課題の設定など、コンテンツに工夫をして利用者のニーズを掘り起こすことをご検討ください。 ②個別支援計画にはもっと具体的に学習の成果と学習の目標を設定、記載するようにしてください。 ③小学校、中学校との連携が多いとは言えない状況とのことですが、個別支援計画の充実や正確なモニタリングのために連携は有効と思われます。地域社会や学校の理解を得るため上記1、2を充実し、取り組みに共感と評価を得られれば連携など関係が深まると思われます。 ④利用者の拡大を図るには現在の立地では限界があります。児童生徒が通所しやすい立地への移転もご検討ください。

令和元年度 事業目標と結果 (事業所名: 特別養護老人ホーム かおる園)

(全体総括)

今年度において、稼働は平均で92.2%と前年度よりも低下している。待機者、新規入所者共に減少傾向にあるが、入所申し込み者については随時みられている状況である。
 今後はケアの質の向上とケアの統一を図ることで入院者を減らし、そのケアを地域に発信することで入所希望者を確保できるように取り組んでいかなければならない。

課題・重点	目標項目	目標水準	結果	次年度へ向けて
稼働率が安定する	ご利用者様に適切な健康管理を行う	各月の入院者0名	月平均入院者数 172.7名 年間延べ入院者数 2072名	次年度も継続して入院者を減らす取り組みを行っていく
	入所希望者を増やす	待機者30名以上	待機者数 3月末時点 16名	地域へのPRや病院へのアプローチ、また在宅部門との連携を図ることで入所待機者の増加を図る
人材を育成する	人が育つ職場をつくる	体制の運用	面談については、各副主任や主任で行ってもしっかりしているが、1～2回程度の実施。面談と評価を連動させて実施できておらず、各職員が目標をもって実施できる職務に当たれるよう意識づけが必要である	各フロアのリーダーを含む、職員を教育、指導できる職員の育成が必要と思われるため、次年度取り組んでいく。理念やかおる園の目指す介護について意識の統一を図っていく
	目標が評価される仕組みをつくる	職員面談 1回/3ヶ月		
ケアの質の向上を図る。	職員レベルを向上させる	日中おむつ使用者0名	3月末時点 おむつ使用者数 19名 (前年比+6名)	次年度も継続するとともに取り組みについては発信できるように準備をすすめる
利用者が安心して良いサービスを受けられる事業所になる。	業務を検証する	事故・苦情の削減	介護事故件数 44件 (前年比+22件)	随時業務内容について検討を重ね、改善を図っていく
職場のルールが守れる事業所に変わる。	職場の環境整備を実施する	環境整備の評価を月1回以上行う	一部実施できたが、9月以降あまり進展がなかった	今年度も継続して実施する

令和元年度（1月～3月） 会議・委員会 事業所名：特別養護老人ホーム かおる園

会議

会議名	開催日	参加者	主な議題
職員会議	R2.1.7	上郡運営指導監・河村管理者・佐藤主任・平主任・高橋主任	・前月稼働状況の確認と情報共有を行った ・新規入所者の情報を共有した ・今月の予定を確認した
職員会議	R2.1.21	上郡運営指導監、河村管理者、平主任、今泉副主任、瀧澤副主任、大路副主任、宮脇副主任、高橋主任	・各フロアの取り組みの評価を行った
職員会議	R2.2.4	上郡運営指導監・河村管理者・平主任・高橋主任	・前月稼働状況の確認と情報共有を行った ・新規入所者の情報を共有した ・今月の予定を確認した
職員会議	R2.2.18	上郡運営指導監、河村管理者、平主任、今泉副主任、瀧澤副主任、大路副主任、宮脇副主任、高橋主任	・各フロアの取り組みの評価を行った
職員会議	R2.3.3	上郡運営指導監・河村管理者・平主任・高橋主任	・前月稼働状況の確認と情報共有を行った ・新規入所者の情報を共有した ・新型コロナウイルスの対策について検討した
職員会議	R2.3.20	上郡運営指導監、河村管理者、平主任、今泉副主任、瀧澤副主任、大路副主任、宮脇副主任、高橋主任	・各フロアの取り組みの評価を行った

委員会

委員会名	開催日	参加者	主な議題
感染症委員会	R2.1.7	上郡運営指導監・河村管理者・高橋管理者・佐藤主任・小杉山相談員・高橋主任・今泉副主任・瀧澤副主任・大路副主任・宮脇副主任	感染症流行状況を確認した インフルエンザ予防について対策を行った インフルエンザの対応について情報共有した
感染症委員会（臨時）	R2.1.4 R2.1.6	朝ミーティング参加者	職員のインフルエンザ発症に伴う対応について情報共有した
感染症委員会（臨時）	R2.1.14 R2.1.31	朝ミーティング参加者	職員・利用者のインフルエンザ発症に伴う対応について情報共有した
感染症委員会	R2.2.4	高橋管理者・佐藤主任・小杉山相談員・高橋主任・今泉副主任・瀧澤副主任・大路副主任・宮脇副主任・河野相談員（デイ）	感染症流行状況の確認をした 嘔吐処理ロールプレイングを実施した
感染症委員会	R2.3.3	河村管理者・佐藤主任・小杉山相談員・高橋主任・今泉副主任・瀧澤副主任・大路副主任・宮脇副主任	新型コロナウイルスのレベル別対応について検討し情報共有した
感染症委員会（臨時）	R2.3.18	上郡運営指導監、河村管理者、平主任、楠主任、高橋研	新型コロナウイルス対策について検討し情報共有した

委員会

委員会名	開催日	参加者	主な議題
事故防止委員会	R2.1.7	上郡運営指導監・河村管理者・高橋管理者・佐藤主任・小杉山相談員・高橋主任・今泉副主任・瀧澤副主任・大路副主任・宮脇副主任	事故発生状況について情報共有した 事故防止対策評価を行った
事故防止委員会	R2.2.4	高橋管理者・佐藤主任・小杉山相談員・高橋主任・今泉副主任・瀧澤副主任・大路副主任・宮脇副主任・河野相談員（デイ）	事故発生状況について情報共有した 事故防止対策評価を行った 現場検証の方法について検討した
事故防止委員会	R2.3.3	河村管理者・佐藤主任・小杉山相談員・高橋主任・今泉副主任・瀧澤副主任・大路副主任・宮脇副主任	事故発生状況について情報共有した 事故防止対策評価を行った ヒヤリハットの状況について情報共有した
褥瘡予防・医療的ケア委員会	R2.10.9	上郡運営指導監・河村管理者・高橋管理者・佐藤主任・小杉山相談員・高橋主任・今泉副主任・瀧澤副主任・大路副主任・宮脇副主任	各フロア褥瘡・皮膚トラブル状況の確認と対策を検討した
褥瘡予防・医療的ケア委員会	R2.11.5	高橋管理者・佐藤主任・小杉山相談員・高橋主任・今泉副主任・瀧澤副主任・大路副主任・宮脇副主任・河野相談員（デイ）	各フロア褥瘡・皮膚トラブル状況の確認と対策を検討した
褥瘡予防・医療的ケア委員会	R2.12.3	河村管理者・佐藤主任・小杉山相談員・高橋主任・今泉副主任・瀧澤副主任・大路副主任・宮脇副主任	各フロア褥瘡・皮膚トラブル状況の確認と対策を検討した
衛生委員会	R2.1.21	河村管理者・小杉山相談員・澤岡介護員・吉中介護員・杉田介護員・佐藤介護主任	○大掃除について計画した ○健康診断の再検査受診状況について確認した ○有給の取得状況について確認し取得計画を立てた ○施設内の臭気対策について検討した
衛生委員会	R2.2.18	河村管理者・小杉山相談員・澤岡介護職員・吉中介護職員・杉田介護職員・古瀬介護職員・佐藤介護主任	○有給の取得状況について確認した ○施設内の臭気対策について評価・再検討した

委員会

委員会名	開催日	参加者	主な議題
衛生委員会	R2.3.18	河村管理者・小杉山相談員・澤岡介護職員・吉中介護職員・杉田介護職員・古瀬介護職員・佐藤介護主任・河野相談員（デイ）	<ul style="list-style-type: none"> ○5s実施状況について確認した ○有給の取得状況について最終確認をした ○施設内の臭気対策について評価した

令和元年度（1月～3月） 行事 事業所名： 特別養護老人ホームかおる園

行事

行事名	開催日	参加人数	参加者
新十津川町赤十字奉仕団演芸祭	R2.2.3	70名	かおる園利用者
下徳富ランタンフェスティバル	R2.2.8	120名	地域住民・明和会各事業所

行事予定（4月～6月）

行事名	開催日	参加人数	参加者

令和元年度

事業所名 特別養護老人ホームかおる園

利用者数推移

(4月～3月)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
基準人数(人)		3,000	3,100	3,000	3,100	3,100	3,000	3,100	3,000	3,100	3,100	2,900	3,100	3,050
延利用人数(人)	H30	2,898	2,968	2,880	2,913	2,902	2,854	3,015	2,960	2,979	2,901	2,595	2,772	2,880
	H31	2,774	2,956	2,902	2,937	2,757	2,708	2,880	2,712	2,815	2,783	2,649	2,886	2,810
稼働率(%)	H30	96.6%	95.7%	96.0%	94.0%	93.6%	95.1%	97.3%	98.7%	96.1%	93.6%	92.7%	89.4%	94.9%
	H31	92.5%	95.4%	96.7%	94.7%	88.9%	90.3%	92.9%	90.4%	90.8%	89.8%	91.3%	93.1%	92.2%
収入(千円)	H30	30,446	31,269	30,264	30,638	30,613	29,719	31,381	31,174	31,406	30,464	27,574	29,464	30,360
	H31	29,648	31,345	30,754	31,012	29,391	28,696	31,220	30,071	30,800	30,123	29,046	31,274	30,280
収入差額(千円)		-798	76	490	374	-1,222	-1,023	-161	-1,103	-606	-341	1,472	1,810	-80

職員数推移

(4月～3月)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
	正規	41	41	40	40	40	39	39	39	39	39	39	39	39.5
	有期	5	5	5	7	8	8	8	8	8	8	8	8	7.5
	パート	15	15	16	16	16	15	15	15	15	15	15	15	15.5

令和元年度

利用者数推移

(4月～3月)

事業所名 短期入所生活介護かおる園

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
基準人数(人)		90	93	90	93	93	90	93	90	93	93	87	93	92
延利用人数(人)	H30	104	93	60	89	74	86	86	92	84	85	65	96	96
	H31	96	112	93	84	86	106	83	69	61	60	78	117	87
稼働率(%)	H30	115.6%	100.0%	66.7%	95.7%	79.6%	95.6%	92.5%	102.2%	90.3%	91.4%	74.7%	103.2%	92.3%
	H31	106.6%	120.4%	103.3%	94.7%	92.4%	117.7%	89.2%	76.7%	65.6%	64.5%	89.7%	125.8%	95.5%
収入(千円)	H30	1,017	912	637	889	734	873	933	891	841	635	899	940	850
	H31	932	1,074	914	853	849	1,045	855	690	590	381	961	1,147	858
収入差額(千円)		-85	162	277	-36	115	172	-78	-201	-251	-254	62	207	8

職員数推移

(4月～3月)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
	正規	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0
	有期	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0
	パート	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0

令和元年度 事業目標と結果 (事業所名: デイサービスセンターかおる園)

(全体総括)

【年間平均稼働率】 H30年度→72.3% H31年度→80.9%(8.6%増)	【延べ利用人数】 H30年度→5,534名 H31年度→6,278名(744名増)
--	---

利用者の声が反映できるよう日々の提供サービス内容(屋内外ともに)を職員間で検討し共有した。家族やケアマネにも、情報を提供しことや急な要望に対応することで地域柄のニーズに応じることが出来たのではないかと考えられる。その結果、年間稼働率、年度延べ利用者人数の向上に繋がったと評価できる。
しかし、内部研修を予定通りに行えなかったことや事業所内で整備しなくてはならない項目の達成率が低かったため、次年度以降、計画的な内部研修やマニュアル整備が必要である。

課題・重点	目標項目	目標水準	結果	次年度へ向けて
利用者の声を反映できる活動を提供する	①アセスメントの情報共有 ②他事業所の連携 ③家族との連携	①1回/1ヵ月 ②1回/1ヵ月 ③毎日、1回/3ヵ月	①できた ②できた ③家族参観だけ実施できなかった	①②ケアプラン通りにケアを行うのではなく、現場の意見が反映されることでより良い時間を過ごしていただく ③家族参観を実施する
利用者がプログラムを選択できる環境をつくる	①活動プログラムの確立 ②マニュアルの作成	①15個/3ヵ月 ②15個/3ヵ月	①②マニュアル作成は捗らなかったが、その日の利用者の意見を反映させ、希望する内容でサービス提供を行えた	①②男性・女性を問わず、さまざまな要望に沿えるサービス内容を検討する
評価を得られる事業所になる	①個別面談の実施 ②担当制行事の実施	①1回/3ヵ月 1回/6ヵ月 ②1行事/1職員	①1回/年の実施に止まり十分な情報交換や評価、につなげることが出来なかった ②実施できた	①年間計画に沿い実施する ②昨年度に引き続き実施する
在宅生活を続けられる	①自立支援介護の知識習得 ②待てる介護	①基本ケアの理解の研修 1回/3ヵ月 ②動き出しは当事者の研修1回/3ヵ月	①②内部研修を開くことが出来なかったため計画的に実施する必要がある	①②科学的介護知識の習得も含め、利用者情報共有を強化しケアにあたる

令和元年度（1月～3月） 行事 事業所名： デイサービスセンターかおる園

行事

行事名	開催日	参加人数	参加者
初詣	R2.1.6	26名	職員8名、当日利用者18名
新年会	R2.1.14	35名	勤務職員8名、利用者27名
健康レシピ調理	R2.2.17	7名	職員1名、利用者6名

行事予定（4月～6月）

行事名	開催日	参加人数	参加者

令和元年度

事業所名 デイサービスかおる園

利用者数推移

(4月～3月)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
基準人数(人)		660	690	600	690	660	630	690	630	630	600	600	660	649
延利用人数(人)	H30	398	444	441	472	499	444	547	488	446	438	457	457	467
	H31	509	537	485	561	508	516	581	511	530	512	518	517	524
稼働率(%)	H30	63.2%	64.3%	70.0%	71.5%	72.3%	79.3%	79.3%	73.9%	70.8%	73.0%	76.1%	72.5%	72.2%
	H31	77.1%	77.8%	80.8%	81.3%	77.0%	81.9%	84.2%	81.1%	84.1%	85.3%	86.3%	78.2%	81.3%
収入(千円)	H30	3,252	3,644	3,759	3,921	4,184	3,909	4,624	4,083	3,815	3,647	3,901	3,929	3,889
	H31	4,192	4,482	4,035	4,503	4,329	4,331	4,847	4,354	4,485	4,445	4,420	4,380	4,400
収入差額(千円)		940	838	276	582	145	422	223	271	670	798	519	451	511

職員数推移

(4月～3月)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	正規	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	44
	有期	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
	パート	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	57

令和元年度 事業目標と結果 (事業所名:ハーブガーデン新十津川)

(全体総括)

アメンバー経営を取り入れたことにより、ハーブガーデンの課題を全職員で考えることができた。また、実施した後の評価と改善を一連の流れとして行うことが習慣づいてきた。
ハーブガーデンの課題を解決するためには、入居者様一人一人、職員一人一人を見る必要があるため、来年度は個別の評価、プランの実施を意識して行う。

課題・重点	目標項目	目標水準	結果	次年度へ向けて
ケアハウスの高齢化・介護量の増加がみられる	心身機能の向上	体力測定値の向上 HDS-Rの向上 要介護度の維持	HDS-R未実施。 要介護状態は上がっており、特に認知機能の低下による 体力測定では、月により1, 2分前後(良くなったり、悪くなったり)する様子あり	認知機能の低下がみられる入居者に対し、まずは1名ターゲットを決めて全職員で取り組む。その後、他入居者にも広める
居室に閉じこもりがちになっている方がいる	社会人として誇りを持った生活を送る	1週間に一度趣味や社会貢献などの社会参加をしている人が50人中50人	趣味や社会貢献を行われていない方の確認(週に1度) 月に1度は参加していただくような体制整う	継続して実施。また、ケアグロスを導入し、個別支援計画・アセスメントを実施する
職員の知識・判断が不足している	職員の教育(成長)	個別目標の達成	面談2月予定 入居者観察はできているが、それに対する対応や危険予測が不十分 外部研修参加後のアウトプットが不十分(他職員への浸透・実践)	職員がどのような声掛け、対応を行って、入居者からどのような反応があったか記録に残し、良い対応を共有する 研修報告作成後、回覧前にミーティングにて研修で得た知識をハーブでどのように活かすかを発表する 内部研修で詳しく知識を共有するかも検討する
入所・退所時の基準設定が不明確である	判定基準の作成	判定基準の活用	判定基準未作成 他入居者から「変な人」と思われ始めると要注意 他入居者に迷惑行為がある。ご自身に危険がある場合は入居継続が難しい	基準通りに行うことは困難。入所判定、ケアカンファレンス時に話し合うことを継続する

令和元年度（1月～3月） 会議・委員会 事業所名：ハーブガーデン新十津川

会議

会議名	開催日	参加者	主な議題
給食会議	R2.1.9	GH：田中、長田 ハーブ：西川、板見、西島	特別メニュー（ハーブ・グリーンハウス・イベント）の実施報告と次回予告 実地指導の結果報告 免疫力を高めるための聞き取り報告
職員会議	R2.1.22	西川、久保田、河合、中川、西島、荒木、岡部、岸本	ハーブガーデンの取り組み ①閉じこもりゼロ作戦 ・個別に活動検討 ②入居者・待機者確保に向けて ・空知管内の包括、病院へ挨拶回り実施 ③来年度行事の希望調査を入居者様に実施
給食会議	R2.2.13	GH：田中、長田 ハーブ：西川、西島	特別メニュー（ハーブ・グリーンハウス・イベント）の実施報告と次回予告 アンケート内容検討 パン種類の調査
職員会議	R2.2.19	西川、久保田、河合、高橋、荒木、下口、美濃、西島	ハーブガーデンの取り組み ①閉じこもりゼロ作戦 ・個別に活動検討 ②令和2年度事業計画説明 ③退所者減の取組み検討
給食会議	R2.3.12	GH：田中、長田 ハーブ：西川、西島	特別メニュー（ハーブ・グリーンハウス・イベント）の実施報告と次回予告 アンケート結果報告 パン種類の見直し
職員会議	R2.3.18	西川、西島、久保田、荒木、下口、笹、高橋	ハーブガーデンの取り組み ①閉じこもりゼロ作戦 ・個別に活動検討 ②令和2年度行事検討 ・入居者様の希望をもとに作成 ③行事担当検討
職員会議	R2.3.25	西川、久保田、河合、中川、西島、岡部、岸本、千葉、高橋	ハーブガーデンの取り組み ①行事担当検討 ②退去・転居ゼロ作戦 ・認知症の方への取りくみとして、対象者を決め実施

委員会

委員会名	開催日	参加者	主な議題
事故予防委員会	R2.1.24	西川・久保田・高橋	ヒヤリハット、事故報告と経過の確認、検討
身体拘束及び虐待防止委員会	R2.2.19	西川・下口・高橋・河合・荒木・美濃・西島	身体拘束及び虐待の有無確認 内部研修の実施 ・施設における高齢者虐待と身体拘束の防止
感染症予防委員会	R2.2.20	西川・河合・板見・西島	感染症発症状況確認 インフルエンザ・コロナ感染予防対策として、うがいと手洗いのポスター掲示
事故予防委員会	R2.2.26	西川・久保田・高橋	ヒヤリハット、事故報告と経過の確認、検討 本部 事故予防委員会の報告 事故・インシデント・ヒヤリハットの区分について共有

委員会

委員会名	開催日	参加者	主な議題
感染症予防委員会	R2.2.28	西川・久保田・河合・西島・高橋・鹿島・岸本・中川	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染拡大を受け、予防対策見直し ・入居者様 3回/1日の検温。有熱時の報告 ・外出、面会の自粛要請（入居者様・ご家族様へ説明） ・業者の立ち入り制限
感染症予防委員会	R2.3.26	西川管理者、河合、久保田、鹿島、西島	今年度の反省と来年度に向けて
事故予防委員会	R2.3.26	西川・久保田・高橋	ヒヤリハット、事故報告と経過の確認、検討 薬落下の取り扱いについて検討

令和元年度（1月～3月） 行事 事業所名： ハーブガーデン新十津川

行事

行事名	開催日	参加人数	参加者
新年会	R2.1.11	60名	ハーブ入居者49名、職員5名、ボランティア（ひばりナツメロ会）6名
文京区会館掃除	R2.1.25	8名	ハーブ入居者9名、職員1名
夜レク	R2.3.20	26名	ハーブ入居者23名、職員3名
天ぶらバイキング	R2.3.31	48名	ハーブ入居者44名、職員4名

行事予定（4月～6月）

行事名	開催日	参加人数	参加者
春の一斉戸外清掃	R2.4.15		
外食レク（寿司出前）	R2.4.24		
花見・焼き肉（ハーブ裏）	R2.5月		
動物園	R2.6月		
避難訓練	R2.6月		
イベント食	R2.6月		

令和元年度

事業所名 ケアハウス・特定施設

利用者数推移

(4月～3月)

ケアハウス		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
基準人数(人)		1,500	1,550	1,500	1,550	1,550	1,500	1,550	1,500	1,550	1,550	1,450	1,550	1,525
延利用人数(人)	H30	1,479	1,534	1,500	1,513	1,550	1,500	1,550	1,500	1,500	1,550	1,392	1,523	1,508
	H31	1,467	1,317	1,317	1,492	1,519	1,500	1,543	1,500	1,518	1,550	1,421	1,545	1,474
稼働率(%)	H30	98.6%	99.0%	100.0%	97.6%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	96.8%	100.0%	96.0%	98.3%	98.9%
	H31	97.8%	85.0%	87.8%	96.3%	98.0%	100.0%	99.5%	100.0%	97.9%	100.0%	98.0%	99.7%	96.7%
収入(千円)	H30	6,973	6,625	6,578	6,620	6,676	6,542	6,928	7,002	7,020	7,006	6,966	7,433	6,864
	H31	6,916	6,585	6,435	6,517	6,694	6,604	7,112	7,154	7,102	7,134	7,106	6,782	6,841
収入差額(千円)		-57	-40	-143	-103	18	62	184	152	82	128	140	-651	-119

特定施設		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
基準人数(人)		540	558	540	558	558	540	558	540	558	558	522	558	544
延利用人数(人)	H30	515	527	540	556	541	526	528	540	558	493	470	553	521
	H31	540	455	430	469	552	537	545	532	545	557	479	494	511
稼働率(%)	H30	95.4%	94.4%	100.0%	99.6%	97.0%	97.4%	94.6%	100.0%	100.0%	88.4%	90.0%	99.1%	96.3%
	H31	100.0%	81.5%	79.6%	84.1%	98.9%	99.4%	97.7%	98.5%	97.7%	99.8%	91.8%	88.5%	93.1%
収入(千円)	H30	3,009	3,070	3,182	3,270	3,256	3,209	3,314	3,272	3,384	2,999	2,912	3,231	3,171
	H31	3,529	3,234	2,878	2,869	3,028	3,634	3,354	3,254	3,104	3,758	2,862	3,322	3,231
収入差額(千円)		520	164	-304	-401	-228	425	40	-18	-280	759	-50	91	6

職員数推移(ケア、特定)

(4月～3月)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	正規	9	9	9	9	9	8	7	7	7	7	7	7	77
	有期	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11
	パート	6	7	7	7	7	7	8	8	8	8	8	8	77